

## Q. 産業誘致の研究はどうなった

### A. 産業誘致の検討を継続する



坪井 武成 議員



工事が進むJAXA

**Q** 昨年「町の活性化、財政力の向上、雇用促進の観点から先端産業誘致の研究を」と聞いた。答弁は「町の立地条件の良さから、誘致の手法など研究する」であった。

**A** 具体的な取り組みとしては、町の経済情勢が上昇してからは遅い。活性する時期には、受け皿が整っている必要がある。どこまで研究したか。

具体的取り組みとしては、町の

活力を維持・増進するため、新都市計画マスタープランに、産業立地誘導地区と地域振興関連地区を、市街化調整区域へ位置付けた。

しかし、地権者の意向を無視して、工業系の土地利用を進めることに対する強いアレルギーがある現状からみて、本町への工業系の産業誘導は、非常に厳しいと考える。町の活力の維持・増進には、産業誘導も必要であり、地域の理解を得られ

るような手法等の検討は継続していかなければならない。

## Q. 名古屋空港からツアーを

### A. 周辺自治体と連携を図る

**Q** 「名古屋空港からツアーを出して」と直接住民が要望したということ。

旅行会社等が最終的に決定するものである。しかし、ツアーの拡充は、空港の利用増に繋がり、地域振興にも寄与する。

これは町は放っておいてはいけない。機種も76人乗りが導入された。①年間の利用客数の推移は。

②その搭乗率は、秋田③周辺自治体が一緒にあって要望を。

①エンブラエル機の年間利用客数は、平成20年度秋田便3万9194人前年度比17%減、福岡便13万2553人同16%増である。

②その搭乗率は、秋田便53.8%、福岡便69.4%である。

**A** 県営名古屋空港を利用した国内ツアーについては、既に複数販売されている。ツアー内容については、季節や顧客の要望等を判断し、

③県や周辺自治体等と連携・協力を図りながら、空港の利用者増に繋がるような取組みを支援していく。